



鈴木としゆき

No.48

県政報告紙
発行・鈴木としゆき
鈴木としゆきだより
浜松市北区初生町162
☎053143918311



▲静岡県議会2月定例会

本県の平成26年度当初予算の編成は、一般財源総額が前年と同水準で確保されたものの、高齢者医療などの社会保障関係費の増加が見込まれるなど、引き続き厳しい財政環境の下での編成となった。

- 方針①重点的な取り組みは、
- ①大規模地震への万全の備え
 - ②「内陸フロンティア」を拓く取り組み
 - ③人口減少社会への挑戦
 - ④富士山を活かした地域の魅力づくり
 - ⑤健康寿命日本一の延伸
 - ⑥新成長産業の育成と雇用創造
 - ⑦エネルギーの地産地消
 - ⑧多彩な人材を生む学びの場づくり

増となった。3・6%の増となった。



▲節分祭

方針②未来を見据えた戦略的な行政運営は、
①地域主権の時代にふさわしい新たな組織の運営

◆義務的経費は、前年度に比べ0.6%の増となり、歳出予算全体に占める割合は54.5%で、前年度より1.7ポイント減少した。

◆投資的経費の個別事業では

- 県立学校等施設整備事業費助成…………… 76億円
- 介護保険関連施設整備事業費助成…………… 55億円
- 防災行政無線デジタル化推進事業費…………… 47億円
- 交通環境改善緊急対策事業費…………… 25億円
- 局地豪雨緊急対策事業費…………… 25億円
- 富士山静岡空港新運営体制構築事業費…………… 23億円
- 草薙総合運動場リニューアル事業費…………… 23億円

※道路、河川、公園など県民に身近な生活環境整備事業は、250億円を計上し事業量を確保した。

等々

鈴木利幸 一般質問内容

■茶業振興について

- 生産施策としては、農地中間管理機構を活用しやる気のある担い手に集積
- 消費拡大策としては、東京有楽町にある「グリーンティー・プラザ」の活用、和食文化、啓蒙

■ふじのくにの呼称について

- 「静岡県」のブランドを更に磨き上げ、発展に努めます。

■県の組織改編に向けた考え方について

- 組織が効率的かつ効果的に運営されているか、常に検証し組織体制を見直します。

■内陸フロンティアを拓く取組みについて

- 優良農地の保全は、「多面的機能支払交付金制度」等を活用し、競争力のある強い農業を実現します。
- 交通ネットワークの整備は、沿岸・都市部と内陸・高台部の連携を強化します。

■県内の食肉センターの体制について

- 安全安心な牛肉・豚肉を安定的に提供できる様に食肉流通体制を構築します。

■浜名湖花博2014の見どころについて

- 県内で育成された新品種や切花の日持ちを向上させる新技術等々を通じて花と緑の新たな需要創出につなげます。